

イーグルクランプ通信

営業所紹介 第10回 北関東営業所の巻



北関東営業所は営業所在地の群馬県と北関東一円の埼玉県、栃木県、新潟県と茨城県の一部のエリアを担当としており、営業所スタッフは(写真左より)品田(営業所唯一の若手)、所長の百瀬(自称変なオジサン)、営業事務の重田(年齢不詳?)、平田テクニカルアドバイザー(見た目より若い?)、の以上の4名で活動しております。



登録ユーザー様の件数は約3500件を数え、鉄骨、建設、製缶、BH製作等のユーザー様にアフター

サービスの点検を重点に営業活動を行っております。「あついで!熊谷」でおなじみの埼玉県熊谷市に隣接した群馬県随一の工業地帯、太田市で開所し早30年。一昨年には北関東自動車道も全面開通し、営業エリアを走り回ってこれからも「信頼と安全」をモットーにご満足のいく「あついで!」サービスに所員一同、日々努力していく所存です。



あついで!熊谷 © 熊谷市

CONTENTS

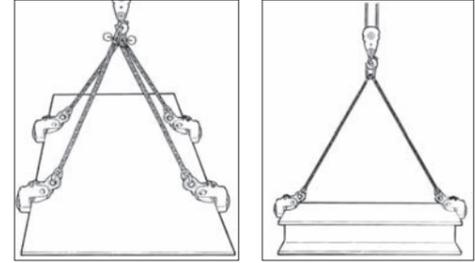
- ・ 独楽はなぜ立っているのか?
ジョージ・ワシントン
- ・ 世界偉人伝
ジョージ・ワシントン
- ・ 営業所紹介
第10回 北関東営業所の巻
- ・ 表紙のクランプ
鋼板水平つり用クランプ VAFS型

表紙のクランプ

鋼板水平つり用クランプ VAFS型

- 鋼板や敷き鉄板の水平移動に最適です。
- ロック装置付きで作業員一人でも確実な玉掛けが可能です。
- 爪部の先が細くなっているため、べた置き敷き鉄板にも簡単に玉掛けが出来ます。
- 爪部の溝(切り込み)によりH鋼の水平移動にも利用できます。

形式	使用荷重 最小~最大(kg)	有効板厚 (mm)	製品質量 (kg)
VAFS-600(5-30)	120~600	5~30	2.6
VAFS-1(5-30)	200~1000	5~30	3.7



鋼板水平つり用クランプ VAFS型

イーグルクランプ株式会社

本社 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2-3 (貿易部) E-mail: (本社) eagle@eagleclamp.co.jp
 東京支店 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川2丁目2-2
 札幌営業所 〒003-0837 札幌市白石区北郷7条7丁目1-10
 仙台営業所 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目27-3
 北関東営業所 〒373-0806 群馬県太田市龍舞町5342
 千葉営業所 〒290-0056 千葉県市原市五井1205-1
 名古屋営業所 〒456-0062 名古屋市中村区横前町551-4-1
 大阪営業所 〒542-0012 大阪市中央区谷町8丁目2-3
 北陸営業所 〒921-8011 金沢市入江3丁目132
 岡山営業所 〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3丁目5-21
 広島営業所 〒733-0863 広島市西区草津南3丁目7-9
 小倉営業所 〒802-0064 北九州市小倉北区片野3丁目4-14
 長崎営業所 〒851-1132 長崎県小倉4丁目2-5
 工場 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
 技術部 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570

ユーザー新規登録/確認/定期点検についてのお問い合わせは
 フリーダイヤル 0120-119-080
 ホームページ <http://www.eagleclamp.co.jp>



A4-6000 KY-1 (第1版第1刷) 1201 EC通信 Vol.12 400円

World wide lifting equipment
EAGLE CLAMP CO.,LTD.

ISO-9001
 A.C.NO.YKA 0200132
 Design, Manufacture, Maintenance, Management.



第12号

コマ 独楽はなぜ立っていられるのか？

ターゲットの夢の中に入り込み、潜在意識の中から大切なアイデアを盗んだり、新しい考えを植えつけたりする、特殊な企業スパイを題材にした映画「インセプション」。

その中で主人公は、今、自分がリアルすぎる他人の夢の中にいるのか、それとも現実の世界に戻っているのかを見分けるために、自分で作った小さなコマを使います。現実ならコマはやがて倒れて止まり、夢の中ならいつまでも回り続ける。映画のラストシーンでは主人公が大仕事を終え無事に子供たちの待つ自宅に戻り、それが現実であることを確かめるためにコマを回したところで子供たちに呼ばれ部屋を出ます。誰もいなくなった部屋の中でコマは静かに回り続け、そこで映画は終わる…はたして主人公は本当に我が家へ帰れたのか？



映画でも重要なキーとなっていました。普通なら到底まっすぐ立たないような形をしているのに、回転していると言うだけで立ち続けていられるコマは確かに神秘的です。だれでも子供時代に一度はコマを回してその姿に見とれた事があると思います。

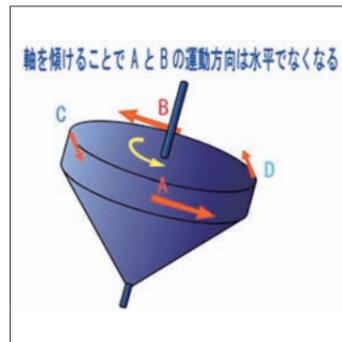
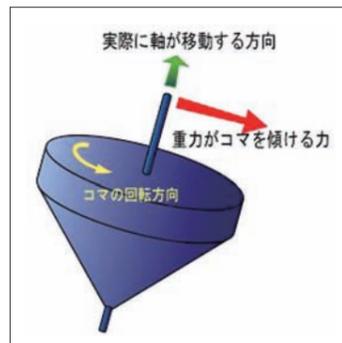
ところで、「コマはなぜ立っていられるのか？」この問いに明快に答えられる人は意外と少ないのではないのでしょうか？

子供向けの本で、コマが立っていられる理由として、「遠心力で軸の周りに均等に引かれているから」と解説しているものがあります。一見「なるほど！」と思わせますが、じっくり考えてみると、これでは「軸がコマの重心を通過していないと不安定になる」理由を説明することは出来ませんが、なぜコマが倒れないかを説明することは出来ません。たとえコマの軸がまわりから均等に引かれようとも、重力はそれ以外の力として、コマのバランスを崩すことになるからです。

コマが倒れない理由を説明する方法として「ジャイロ効果」が使われます。「ジャイロ効果」とは高速で回転している物体の軸に力を加えても、軸は力を加えた方向には傾かずに、それとは垂直の方向に移動しようとする現象です。昔流行した「地球コマ」というおもちゃで遊んだことのある人なら体験したことがあるはず。ではなぜ「ジャイロ効果」が生じるのか？それは慣性力によるものなのです。

図のように地面に対して垂直に立って回転しているコマを倒そうとすると、水平方向に運動していたAの部分は斜め下向きに運動方向を変えることになり、逆にBの部分は斜め上向きに運動することになります。しかし慣性力はAやBの運動の向きを保とうとするためAは上にBは下に引っ張られ、結果的に軸はBの方つまり図の奥の方へ向かって倒れこむこととなります。ところがそうすると今度はDが上にCが下に引っ張られて…と繰り返して軸はどちらにも倒れることが出来ません。これがコマの倒れない理由というわけです。

ちょっと理屈っぽい話になってしまいました。こんな理屈は抜きにしてもコマには不思議な魅力があります。最近外でコマを回している姿をあまり見なくなりましたが、ぜひ皆さんもお休みの日にお子様とコマ遊びをしてみたいかがですか？



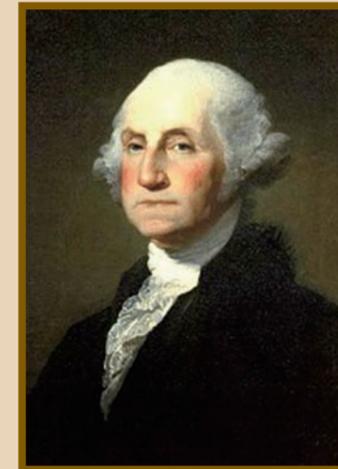
あけましておめでとうございます。Dr. イーグルです。今年もよろしくお願ひします！2012年は重要な政治イベントが目白押しです。選挙イヤーと言っても過言ではありません。主なものを調べてみますと…1月の台湾総統選挙に始まり、3月のロシア大統領選、5月フランス大統領選と続き、秋になると中国の共産党大会では指導部の世代交代が既定路線になっているそうです。そして11月には世界中が注目する米大統領選。最後にお隣、韓国で12月に大統領選があります。各国の元首選挙が目白押しですが、その中でも今回はアメリカの初代大統領であるジョージ・ワシントンにスポットライトを当てたいと思います。

世界偉人伝

ジョージ・ワシントン (George Washington)

1732年2月22日～1799年12月14日

初代アメリカ合衆国大統領。ヴァージニアの大農園主で、独立革命軍の司令官として活躍した。誠実な人柄が国民の信望を高め、困難な建国期をまとめる中心的な役割を果たした。死去した現在も陸軍大元帥の階級にいる。



● 生い立ち

イギリス系移民で南部のヴァージニア州で生まれ、正式な教育も受けず、10歳代の半ばから測量の仕事に従事した。1754年にはヴァージニア民兵軍の中佐としてフランス植民地軍との戦争に参加。1759年に26歳でマーサ・カスティスという1歳年上の未亡人と結婚した。マーサはすでに4人の子があったが、広大な農園の所有者でもあったので、ワシントンはこの結婚で有数の資産家となった。

● 独立戦争

1775年4月にボストン近郊で独立戦争の火蓋が切られると、ワシントンは大陸会議の席上で、独立革命軍の総司令官に選ばれた。彼のもとに集まった兵士達は、独立を目指して士気こそ高かったものの、訓練も兵器も不足がちで、当時世界最強を誇ったイギリス軍に太刀打ちができず、国際的な港として発展し始めていたニューヨークはたちまち占領され、その後も長く苦戦を続けなければならなかった。しかし、ワシントンの統率力は抜群で、妻のマーサも戦闘の間には野営地まで出向き、夫や他の将軍たちの世話をし回ったという。一方では、T・ジェファソンの原案による独立宣言書が1776年7月4日に公布され、フランスからの援軍も到着して、1781年10月にイギリス軍を降伏させた。

● 初代大統領としてのワシントン

こうして新しい国が手探りでスタートしようとしている1783年には大陸会議へ総司令官としての権限を返還し、大農園主の生活に戻ったが、1787年にはフィラデルフィアで開かれた憲法制定会議に出席すると議長に選ばれ、さらにその憲法のもとで初代大統領に選出され、再び農園を離れて公的な生活を始めなければならなくなった。

1789年4月30日、ワシントンはニューヨークのフィラデル・ホールで就任式を行った。しかし新しい共和国の大統領として、どのような生活がふさわしいのか、もちろん前例は全くなかった。ワシントン夫妻は結局それまでの南部上流社会の生活をモデルとしてスタートすることになった。彼は閣僚のうち最も重大な財務長官に若くて才能豊かなA・ハミルトンを、國務長官には独立宣言書の草案を起草したT・ジェファソンを起用した。この間、議会は1790年12月に、ニューヨークからフィラデルフィアに移り、大統領夫妻も約一年半のニューヨーク生活を終えて移動した。ワシントンはメリーランドとヴァージニア両州にまたがる土地『コロンビア特別区』に新しい首都を建設する提案をして承認され、2代目大統領ジョン・アダムズの時代の1800年6月、ワシントン・D・Cとして誕生することとなった。

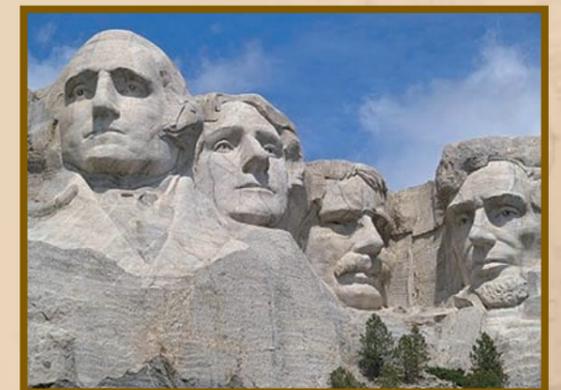
● 告別演説

ヨーロッパの戦争に巻き込まれず、中立を保って新しい共和国の安定を図ったワシントンは、1796年に三選を辞退して「告別演説」を行い、農園に戻った。この演説は歴代大統領の演説の中でも白眉のものとして、以降これが先例となってその後の一世紀余り、三選に挑戦する大統領はいなかった。

● 晩年

1799年に化膿性扁桃腺炎という咽喉感染症を患い、これが急性の喉頭炎と肺炎に変わり、ワシントンは12月14日、自宅にて死去した。享年67歳であった。

初代大統領としてのワシントンは没後しだいに神格化され、州名その他に彼の名が広く使われるようになり、アメリカ全体の典型的なシンボルとなっている。政治や軍事の上で特に優れた才能を持っていたわけではないが、国家創成という一大激変期に際し、多くの人々の信望を集めて収束させた業績は今なお高く評価されている。日本でも幕末から明治にかけて、アメリカ建国の父として紹介され、尊敬された。



マウントラッシュモア国立公園
4人の歴代大統領たち、左からジョージ・ワシントン、トーマス・ジェファソン、セオドア・ルーズベルト、アブラハム・リンカーン